

NISSHA

Nissha Today

第106期 中間報告書

2024年1月1日—2024年6月30日

EMPOWERING
YOUR VISION



NISSHA株式会社

証券コード 7915

社長メッセージ	01
サステナビリティ	04
特集 中期経営計画	05
業績ハイライト	07
トピックス	08
会社概要／株式の状況	09
コミュニケーション	10

社長メッセージ

株主のみなさまには平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜りお礼申し上げます。
2024年12月期第2四半期(中間期)の実績と今後の見通しについて、
代表取締役社長 兼 最高経営責任者の鈴木順也よりご説明申し上げます。



株主のみなさまには平素より
格別のご高配をたまわり
厚くお礼申し上げます。

鈴木順也

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

2024年12月期第2四半期の経営成績

当中間連結会計期間のグローバル経済情勢は、景気持ち直しの動きとなりました。アメリカでは、個人消費が底堅く推移し、景気が拡大しました。ヨーロッパでは、景気は弱含んだ一方で、個人消費が底打ちするなど、持ち直しの兆しがみられました。中国では、内需・外需がともに低迷し、景気の弱さが継続しました。わが国の経済については、生産活動がモビリティ市場の一部で低下したものの、電子部品市場などで持ち直し、景気回復が緩やかに進みました。

このような状況の下、当中間連結会計期間の業績については、産業資材事業では、加飾分野およびサステナブル資材分野とともに製品需要が堅調に推移するなか、生産性・効率性の改善が進みました。デバイス事業では、前期に低迷したタブレットおよび業務用端末(物流関連)向けの製品需要が回復しました。メディカルテクノロジー事業では、製品需要が堅調に推移するとともに、企業買収による業績寄与が始まりました。これら需要動向に加え、為替変動の影響などにより、売上高および営業利益は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は996億円(前年同期比20.1%増)、利益面では営業利益は44億円(前年同期比7,461.2%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は43億円(前年同期比444.8%増)となりました。

2024年12月期通期の見通し

2024年12月期の業績につきましては、当初の想定を上回って推移する見通しです。産業資材事業では、モビリティや家電向けの加飾分野とともにサステナブル資材分野の製品需要が堅調を維持する見込みです。デバイスでは、タブレット向けの製品需要が下半期にやや弱含む一方で、業務用端末向けなどが堅調に推移する見通しです。メディカルテクノロジー事業では、引き続き医療機器CDMOを中心に安定した製品需要が継続する見込みです。

これらの見通しから、売上高1,966億円、営業利益81億円、親会社の所有者に帰属する当期利益66億円を見込んでいます。なお、為替レートは1ドル=145円を前提としています。

2024年12月期第2四半期(中間期)業績のポイント

売上高	営業利益	親会社の所有者に帰属する 中間利益	中間配当金
996億円	44億円	43億円	1株当たり25円

2024年12月通期業績予想(IFRS)

	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (2024年8月6日発表)
売上高	167,726	196,600
営業利益	▲ 3,817	8,100
税引前利益	▲ 2,762	9,500
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲ 2,988	6,600
基本的 1株当たり 当期利益 (円)	▲ 61.13	136.41

(百万円)

事業別売上高	
産業資材	74,300
デバイス	69,000
メディカル テクノロジー	45,000
その他	8,300

配当について

株主還元としては業績、配当性向、財務面での健全性などを総合的に勘案した安定配当の継続を基本とします。なお、資本効率の改善を目的とした自己株式の取得を適宜検討します。2024年12月期の中間配当金は1株につき25円とさせていただきます。2024年12月期の期末配当金については、1株につき25円(年間配当金1株当たり50円)の予想としています。

最後に

当社のMissionは「人材能力とコア技術の多様性」を成長の原動力に、高い競争力を有した特徴ある製品・サービスの創出により、お客さま価値を実現し、「人々の豊かな生活」の実現に寄与することを掲げています。このMissionのもと、当社グループの中長期の成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主・投資家のみならず、格段のご支援・ご鞭撻をたまわりますよう、よろしくごお願い申し上げます。

サステナビリティ——ダイバーシティの実現

女性社員の活躍を推進

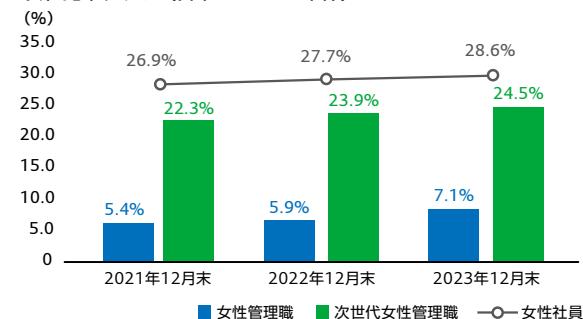
NISSHAグループは、サステナビリティビジョンの達成に向け、多様な人材能力と情熱がその原動力であると考えています。

多様性の象徴の一つとして、女性管理職比率をKPIに設定しています。グローバルに広がる当社グループの社員構成は、それぞれの国や地域、会社が担当する役割の違いなどの影響を受けることから、目標値を一律に設定するのではなく、グループ会社それぞれの女性社員の比率に近づけることを目標としています。

一方、多くの女性社員が役員・管理職に就かなくとも、働きがいをもち活躍しています。当社は、ワークライフ・バランスの重視や柔軟な働き方を可能にする各種制度や学習と成長の機会の充実など、管理職に次ぐリーダークラスである次世代女性管理職の動機づけにつながる取り組みを進めています。この3年で次世代女性管理職候補は着実に増加しています。

	(参考) 女性社員比率	女性管理職比率	
	2023年末	2021年末	2024年末見通し
グローバル連携	38.5%	20.0%	▲ 23.0% ~ 24.0%
日本 (NISSHA 単体)	28.6%	5.4%	▲ 8.5% ~ 9.5%
北米	45.1%	29.9%	▲ 31.5% ~ 32.5%
中南米	68.5%	50.0%	▲ 46.0% ~ 47.0%
欧州	32.7%	18.0%	▲ 23.0% ~ 24.0%
中国・台湾・韓国	53.2%	37.8%	▲ 42.5% ~ 43.5%
東南アジア	49.0%	36.4%	▲ 42.5% ~ 43.5%

女性比率グラフ (日本、NISSHA単体)



多様な人材の活躍を支援

ダイバーシティの実現に向け、社員一人ひとりが能力を十分に発揮できるよう、多様な働き方を支援する取り組みを充実させています。

● 学習と成長の機会充実

企業内大学「Nissha Academy」に広範な研修プログラムを用意。修了者は、重要プロジェクトや中期経営計画の立案に参画するなど、実践の場を提供しています。

● 成果を称える表彰制度

「社長賞」や「事業部長賞」など、成果を出した社員を称えて成長を後押し。会社と社員がともに成長することを目指しています。

● 柔軟な働き方を支援

ワーク・ライフ・バランスを支えるフレックスタイムやテレワーク制度のほか、育児・介護支援制度では法定以上の制度を導入し多くの社員が活用しています。

サステナビリティ情報の開示

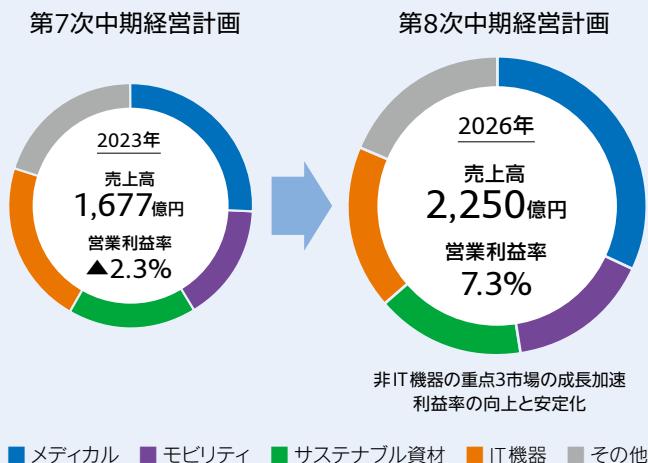
人的資本の充実・強化に向けた取り組みを含む当社グループの非財務情報の詳細については、2024年7月に発行した「NISSHAサステナビリティレポート2024」に掲載しています。



第8次中期経営計画

売上高 営業利益率
2,250億円 7.3%

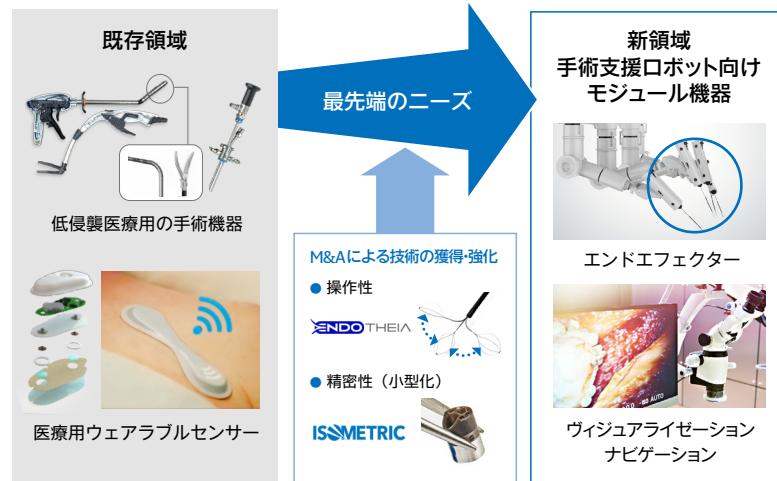
当社グループは、2030年のあるべき姿であるサステナビリティビジョンの実現に向け、第8次中期経営計画(3カ年)を2024年1月から運用しています。8次中計では、利益率の向上と安定化を目指しています。環境変化が激しいIT機器市場とは異なり、安定した成長が期待できるメディカル・モビリティ・サステナブル資材の非IT機器の3市場を成長分野と位置付け、それぞれの市場での成長を加速させます。



メディカル

メディカル市場は、低侵襲医療用の手術機器を中心とした医療機器のCDMO(開発受託製造ビジネスモデル)における市場機会が豊富です。医療機器CDMOの年平均成長率は11%と高い成長が予測されています。既存領域である低侵襲医療用の手術機器や医療用ウェアラブルセンサーにおいては、既に獲得している豊富なバイブラインによる着実な成長を実現させます。また、手術支援ロボットやスマートデバイスに代表される医療機器のデジタル化に対するニーズが拡大しています。既存領域よりもさらに高い成長が期待されるこれら新領域の事業機会を生かし、成長を加速させます。

医療機器CDMOで対象領域を拡大



※画像はイメージです。

モビリティ

モビリティ市場は、近年のCASE(Connected, Autonomous, Shared, Electric)のトレンドに根差した市場機会が豊富です。当社は従来、自動車の内装材を中心とした加飾フィルムを手掛けてきましたが、CASEのトレンドを受け、意匠に加えライティングやタッチ入力など機能を融合する製品についても、お客さまから多くの要望を受けています。また、外装についても、塗装の代替工法として環境への負荷が低い加飾フィルムが注目されるほか、センサーやヒーターの回路を加飾フィルムに実装するニーズが高まるなど、こちらも意匠と機能を融合した製品が求められており、事業機会の拡大が期待できます。

事業機会が拡大、製品ラインアップを拡充



サステナブル資材

サステナブル資材市場は、欧州を起点に世界規模で広がる環境配慮型の資材、特に脱プラスチックのニーズに根差したパッケージ資材を対象としています。現在の主力製品は蒸着紙であり、この分野で当社は欧州、北米、ブラジルなどに事業基盤を有し、市場シェアNo.1の地位を占めています。また、植物由来の素材を用いたサステナブル成形品を医薬品・精密機器や化粧品向けに新たに追加しています。パッケージ資材に対するプラスチック規制が先進国を中心に強化される中、サステナブル成形品の年平均成長率は8%と予測されており、当社は拡大する市場機会を捉えるべく積極的な投資を行います。

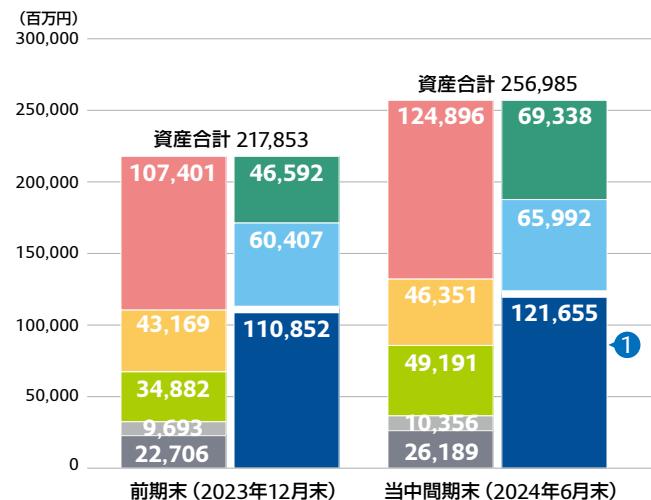
脱炭素社会の実現に貢献する製品を提供

蒸着紙	サステナブル成形品
<ul style="list-style-type: none"> 優れた環境適正 グローバルトップシェア 用途拡大(包装・容器) 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック代替・リサイクル性のニーズに対応 医療品・精密機器・化粧品など幅広い市場に対応
<p>飲料ラベル</p> <p>飲食品向け包装・容器へ用途拡大</p>	<p>医療品</p> <p>精密機器</p> <p>化粧品</p>

2024年12月期中間期 業績ハイライト(IFRS)

要約中間連結財政状態計算書

■ 流動資産 ■ 有形固定資産 ■ 無形資産+のれん
■ 使用権資産 ■ その他の金融資産他
■ 流動負債 ■ 非流動負債 ■ 資本

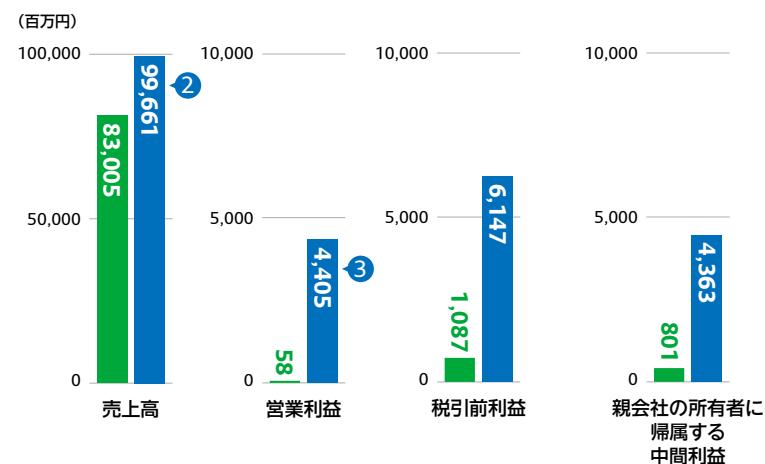


POINT

- ① 資本は1,216億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ108億2百万円増加しました。この結果、自己資本比率は47.2%となりました。
- ② 売上高は996億61百万円(前年同期比20.1%増)となりました。産業資材事業では、加飾分野およびサステナブル資材分野でも製品需要が堅調に推移しました。デバイス事業では、前期に低迷したタブレットおよび業務用端末(物流関連)向けの製品需要が回復しました。メディカルテクノロジー事業では、製品需要が堅調に推移するとともに、企業買収による業績寄与が始まりました。
- ③ 営業利益は44億5百万円(前年同期比7,461.2%増)となりました。製品需要の動向に加え、産業資材事業での生産性・効率性の改善や為替差益の計上などにより収益性が向上しました。
- ④ 営業活動の結果得られた資金は108億79百万円(前年同期は12億82百万円の支出)となりました。税引前利益の増加に加え、運転資金が減少しました。

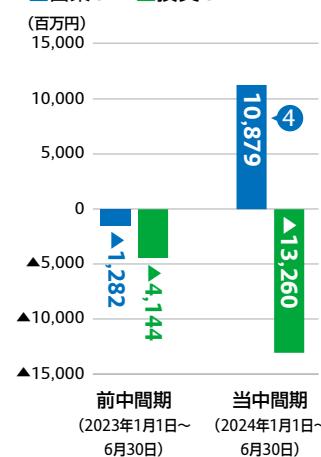
要約中間連結損益計算書

■ 前中間期: 2023年1月1日~2023年6月30日
■ 当中間期: 2024年1月1日~2024年6月30日



連結キャッシュ・フロー計算書

■ 営業CF ■ 投資CF



トピックス

テレビ東京系列「知られざるガリバー」で産業資材事業を紹介



2024年5月25日放送の経済ドキュメンタリー番組「知られざるガリバー〜エクセレントカンパニーファイル〜」(テレビ東京系列)で当社が取り上げられました。番組内では、産業資材事業の加飾フィルム・成形品を中心に、当社社長へのインタビュー、独自の加工技術、甲賀(滋賀県)と亀岡(京都府)の工場でのものづくりの様子などを紹介しました。加飾フィルム・成形品の特長は、プラスチックなどの表面に木目柄や金属調をはじめとするさまざまなデザインに加え、触感、機能を付与できることにあります。「Nissha SurfaceWorks」のブランドの下、モビリティ(自動車)、家電などのグローバル市場で展開しています。



医療機器向けのマイクロ成形を手掛けるIsometric(アメリカ)を買収

2024年3月に、メディカルテクノロジー事業の中核会社であるNissha Medical Technologies(以下NMT)が、アメリカで医療機器向けのマイクロ成形(マイクロメートル単位の寸法精度で微細形状を形成する射出成形)を手掛けるIsometricを買収しました。

手術時の患者への身体的負担を軽減する低侵襲医療の拡大に伴い、医療機器の小型化に対するニーズは高まっています。今後の成長が見込まれる手術支援ロボットなどの分野でも小型化が広く求められています。Isometricは、マイクロ成形に関連する独自の金型および成形加工の技術を保有しています。NMTの主力領域である内視鏡用処置具などの低侵襲医療用の手術機器や医療用ウェアラブルデバイス向けなどの幅広い用途にマイクロ成形品を提供し、医療機器の革新に貢献します。



センサーの統合ブランド「Nissha SenseEvolve」を制定

2024年3月に、デバイス事業が提供するセンサーの統合ブランドとして「Nissha SenseEvolve(センスイボルブ)」を制定しました。主力製品は、薄くて軽く、透明性と耐久性を実現する高精細なフィルムタッチセンサーと、小型で長寿命、微量のガスも検知できるガスセンサーです。センサーは、ときに人間の五感で検知できる領域を超越し、小さな変化を人間に代わって検知することで、病気の予防や事故防止などの場面で人々の生活を支えています。「Nissha SenseEvolve」のブランドの下、新たなセンシング技術の獲得や既存技術との融合などに取り組み、人々の安心で快適な生活に貢献します。



会社概要

商号 NISSHA株式会社
創業 1929年10月6日
設立 1946年12月28日
資本金 121億1,979万円(2024年6月末現在)
社員数 単体767人、連結5,260人(2024年6月末現在)
拠点数(子会社含む) 国内14カ所
海外34カ所(持分法適用会社含まず)

役員の状況 (2024年6月末現在)

取締役	代表取締役社長 兼 最高経営責任者	鈴木 順也
	取締役	井ノ上 大輔
	取締役	渡邊 亘
	取締役	西本 裕
	取締役	礪 尚
	取締役(社外)	大杉 和人
	取締役(社外)	松本 和道
	取締役(社外)	竹内 寿一
	取締役(社外)	橋寺 由紀子
監査役	常勤監査役	谷口 哲也
	常勤監査役	今井 健司
	監査役(社外)	中野 雄介
	監査役(社外)	倉橋 雄作

執行役員	専務執行役員	井ノ上 大輔
	専務執行役員 兼 最高戦略責任者	渡邊 亘
	常務執行役員 兼 最高品質・生産責任者	西本 裕
	常務執行役員	礪 尚
	常務執行役員	サム・ヘレバ
	常務執行役員 兼 最高財務責任者	神谷 均
	上席執行役員 兼 最高技術責任者	面 了明
	上席執行役員	杉原 淳
	上席執行役員	寺下 勝
	上席執行役員	ジョルジオ・ボツソ
	上席執行役員 兼 最高人事責任者	青木 哲
	執行役員	西川 和宏
	執行役員	谷口 忠社
	執行役員 兼 最高情報責任者	小林 振一郎
	執行役員	高芝 歩
	執行役員	中家 勇人
	執行役員	小椋 雄一郎
	執行役員	大下 佳奈子

株式の状況

(2024年6月末現在)

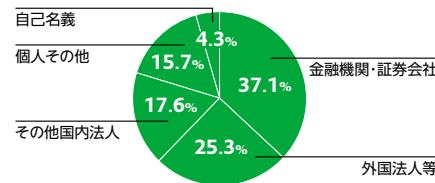
発行可能株式総数 180,000,000株
発行済株式の総数 50,855,638株
株主数 9,608人

大株主

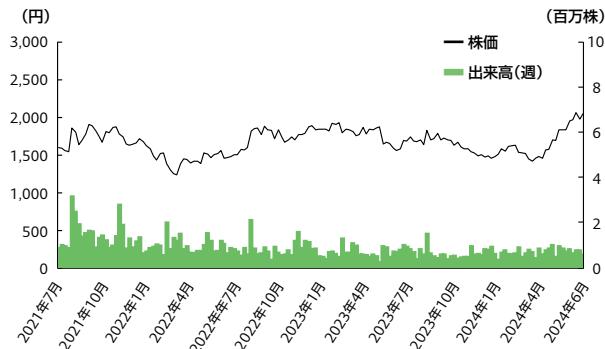
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,841	9.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,658	7.51
鈴木興産株式会社	2,563	5.26
明治安田生命保険相互会社	2,107	4.32
株式会社みずほ銀行	2,076	4.26
タイヨー ハネイ ファンド エルピー	1,618	3.32
株式会社京都銀行	1,442	2.96
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505227	1,394	2.86
タイヨー ファンド エルピー	1,387	2.84
ニッシャ共栄会	1,121	2.30

(注) 1 当社は、自己株式2,183千株を保有していますが、上記大株主からは除いています。
2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式数比率(保有株式数比較)



株価(2021年7月~2024年6月)



コミュニケーション

当社は、株主のみならずとの双方向のコミュニケーションを目指し、定期的にアンケートを実施しています。ここでは2024年3月の株主総会時のアンケートでいただいたご意見の一部と、当社の取り組みをご紹介します。

ご意見

- NISSHAの情報セキュリティは万全ですか？
- 最近話題になっている生成AIについて、NISSHAの考え方やその取り組みを知りたい。

NISSHA

当社グループは、「情報セキュリティ基本方針」および具体的な行動規律を示す「情報セキュリティ基本原則」のもと、ISO27001をベースとした情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を構築しています。当社グループ全社を適用範囲として運用し、ニューノーマル時代に求められるセキュリティ対策を実施しています。

従来、当社グループでは情報セキュリティを事業活動における重要な課題の一つと考え取り組んできましたが、昨今の生成AIの急速な普及を踏まえて、第8次中期経営計画のスタートにあたり、新たに「データセキュリティ」をマテリアリティ(重要項目)として特定しました。

生成AIにより、外部からのサイバー攻撃はますます高度化・巧妙化し、攻撃の回数も増大することが予想されます。当社グループは、グローバルでセキュリティシステムを継続的に強化するとともに、全社員を対象とした定期的な社員研修などを通してセキュリティ意識とリテラシーを高く維持し、データセキュリティの向上を図っています。

また、生成AIが企業の生産性を飛躍的に向上させ、他社との差別化、競争力の強化に繋がるとの考えから、積極的な活用を進めています。その際には、情報漏えいなどのリスクへの対応に加えて、各国の規制やガイドラインの理解が必須であることから、社内啓発にも取り組んでいます。

社員研修・セッションの事例

① 社内フォーラム「ITで変わる働き方と生産性向上」を開催

CIO(最高情報責任者)の基調講演に続いて、複数のテーマ・レベルごとの体験・相談型ワークショップを終日開催しました。このほか、社員の業務効率の向上や改善を目指すフォーラムを定期的に開催するなど、NISSHAグループの生産性の向上に取り組んでいます。



② グループ会社のリーダーとIT部門がサミットを開催

海外のグループ会社を含むリーダーが集い、各拠点でのITの取り組みを共有。特にグローバルでの今後のセキュリティの継続的な改善や強化については参加者の関心が高く、質問や議論が飛び交いました。そのほか、AI活用に関するセッションやグローバルサポート体制の構築に関するセッションを行いました。



株主メモ

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
各種お手続きの お取扱窓口	お取引の証券会社等/ 特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝を除く 9:00-17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(https://www.nissha.com/)ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

ご注意

このNissha Todayに掲載されている情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、そのほか過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性がありますことをご承知おきください。このNissha Todayに掲載されている業績に関する記述は、特に注記がない限り全て連結ベースとなっています。

IR情報に関するお問い合わせ

NISSHA株式会社

コーポレートコミュニケーション部 IRグループ

〒604-8551 京都市中京区壬生花井町3
tel.075-811-8111(大代表)

NISSHAの事業

NISSHAは、3つの事業を展開しています。

■ 産業資材

さまざまな素材の表面に付加価値を与える独自技術を有する事業です。IMD、IML、IMEなどの工法で使用される加飾フィルムや、それらの工法で生産される加飾成形品を提供しています。グローバル市場でモビリティ、家電製品などに広く採用されています。また、金属光沢と印刷適性を兼ね備えた蒸着紙や、主に植物由来の材料を用いたサステナブル成形品など、環境にやさしい製品を提供しています。

■ デバイス

精密で機能性を追求した部品・モジュール製品を提供する事業です。主力製品であるフィルムタッチセンサーはグローバル市場でタブレット、業務用端末(物流関連)、モビリティ、ゲーム機などに幅広く採用されています。このほか、気体の状態を検知するガスセンサーや圧力を検知するフォースセンサーなどを提供しています。

■ メディカルテクノロジー

医療機器やその関連市場において高品質で付加価値の高い製品を提供し、人々の健康で豊かな生活に貢献することを目指す事業です。心疾患向けを中心に幅広い分野で使われる低侵襲医療用の手術機器や医療用ウェアラブルセンサーなどの製品を手がけており、現在は欧米中心に大手医療機器メーカー向けの開発製造受託(CDMO)を展開するとともに、医療機関向けに自社ブランド製品を製造・販売しています。

その他、情報コミュニケーションや医薬品・化粧品などの事業を展開しています。

